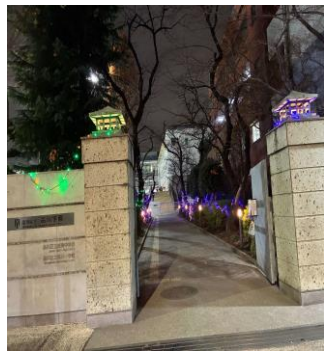




イルミネーション 光るのは校舎か、それとも君か

in品川学園

実は外からも
チラッと見えます



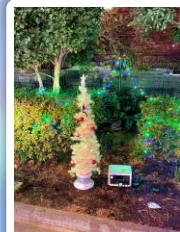
Q1 令和6年に引き続き2回目のイベントとのことですが、開催に至った経緯を教えてください。
A1 (会長) 元々は、前々会長のアイデアで出た提案でしたが、実現には至りませんでした。しかしその後、前会長がその意志を継いでこのイベントの企画書を提出し実現させ、さらにそれを私たちが引き継ぐことで今回も開催できました。



代表者のお二人

令和7年12月15日(月)から12月24日(水)のクリスマススイフにかけて、品川学園の校門(校門)付近でイルミネーションが実施されました!今回2回目の実施となるこのイベントについて、企画団体である品川学園児童生徒会の代表者にインタビューしました!
インタビュアーを引き受けてくれたのは、児童生徒会長の長谷川 然(はせがわ ぜん)さん(8年生) (写真右)と同じく児童生徒会の書記を務める方(6年生) (写真左)のお二人です。

Q2 イベントの準備段階で大変だったことはありますか?
A2 (会長) イルミネーションで使うライトの調達が大変でした。まずは生徒からの寄付を募りましたが、1000人を超える生徒の中で寄付していただいたのは3人ほどで、中々厳しかったです。そこで、PTAの方々に働きかけてお金や物資を寄付していただき、ようやく調達できました。



(書記) 規模が大きいので、ライトを取り付ける作業に時間がかかって大変でした。対策として、今年は生徒のボランティアを集めて、1日1時間飾り付けを手伝ってもらったりもしました。

Q3 開催してみてどうでしたか? 反響とかありましたか?
A3 (書記) はい、実際見た方からは「きれいだっただ」「思ったより本格的だった」などの嬉しい感想が多く寄せられました。また、小さなお子様が親御さんと見られて、親子で「きれいだね」と言い合っている場面を見た時は、このイベントを開催して良かったと思います。

(会長) このイベントは準備の時間から既に楽しかったですし、イベント初日の点灯式で生徒や先生方、地域の方々などの多くの方が見守る中、無事にライトを点灯できた時は、先生に褒めていただけて本当に嬉しかったです。イベント全体を通して、自分たちで企画から実施までやったのですごく大変でしたが、その分大きな達成感を得られ、見栄えも良くてきたので最高でした!来年以降も続けていきたいです!

Q4 では最後に、このイベントを企画した代表者として区民の皆様へ伝えたいことはありますか?
A4 (二人) この冬、品川学園に灯した光を通して人々を笑顔にすることができました。イルミネーションはまた1年後になりますが、皆さんもイルミネーションに負けず輝き続けてください!



関係者以外の方は門の中に入れないため、近くで見ることができませんが、クリスマスの時期に通りがかった際はぜひのぞいてみてください!オススメです!

